

Lアラートの運用主体移管に伴う パスワード強化

一般財団法人 マルチメディア振興センター
Foundation for MultiMedia Communications

2025年12月2日

Lアラートの運用主体移管に伴うパスワード強化

1. 実施背景

- ・Lアラートサービスの国への移管に伴うセキュリティ強化
→7月15日発信の利用者向け周知「今後のLアラートの運営主体について」において事前案内済み。（P2参照）

2. 実施状況

- ①10月2日：利用者向け依頼メール発信（P3参照）
→ 対象利用者数：全1,547団体（解約済み団体を除く全サービス利用者）
内訳）情報発信者 503、情報伝達者（特定、一般） 979、協力事業者（特定、一般） 51、特別利用者 14
→ ガス事業者（対象：93）向けには「Lアラート運用センターにてパスワードを変更する必要がある」の旨記載
- ②10月14日～：無効アドレス等の理由により利用責任者、技術担当者あて双方の配信メール送付が不達となった可能性がある団体に対して架電実施。（対象：74件）
→ 後任者等あてコンタクト～メール再送等を実施（1団体を除き10月末日までにコンタクト完了）
- ③11月17日～：不適パスワードのガス事業者に対し事前メール（P4参照）及び架電による承諾取得のうえ、パスワードを変更し即アカウント通知書再発行。（対象16件、11月26日までに全件完了）
- ④11月21・25日：運営主体移行に伴う説明会（総務省主催、任意参加）にて再周知

3. パスワード不適団体数

- ・4月時点（参考） 672件
- ・11月25日時点 601件（ガス事業者を除く）

4. 今後実施内容


- ①12/上旬：督促メール発信
- ②12/下旬：“強制初期化実施”の事前通告メール発信
- ③1月以降順次：“強制初期化実施”～アカウント通知書発行（完了時期：2月目途）
※都道府県や政令指定都市等の情報発信者については、利用者側システムに影響する可能性が高い為、上記スケジュールに依らず、架電コンタクトによる個別説明の実施を検討中
※災害発生や荒天時（見込みを含む）においては、該当エリア（九州、四国など地方単位、周辺を含む）内の団体については強制初期化は行わない。
- ④（前項完了後）：全利用者のパスワードの適合再チェック

以上

Lアラートの運用主体移管に伴うパスワード強化

参考：運営主体の移行に係る利用者向け周知（7月15日発信）

[l-alert]今後のLアラートの運営主体について(添付資料有)

 commons-center <commons-center@fr>
宛先 commons-center
2025/07/15

このメッセージは 2025/07/15 9:56 に転送されました。

 250715_今後のLアラートの運営主体について.pdf
131 KB

Lアラート利用者各位

※BCCにて送付しております。

お世話になっております。

Lアラート運用センターです。

平素より、Lアラートを利用した災害情報伝達へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

今年度のデジタル社会の実現に向けた重点計画（令和7年6月13日閣議決定）において、令和8年12月より、Lアラートを国において運営する旨が決定されましたので、皆様に周知をさせていただきます。

（添付参照）

※本週知文は、7月10日に開催した第43回Lアラート運営諮問委員会にて審議のうえ承認された内容となっています。（総務省及び（一財）マルチメディア振興センターの連名）

また、本年秋頃に、Lアラート利用者の皆様に対して、今後の事務手続や利用者への影響見込み等を説明する機会を設ける予定です。詳細は別途ご連絡させていただきます。

Lアラートサービス利用者各位

令和7年7月15日

総務省
（一財）マルチメディア振興センター

今後のLアラートの運営主体について

日頃より、Lアラートを利用した災害情報伝達に御理解と御協力をいただき、御礼申し上げます。

令和4年にLアラートの運営に係る費用負担額の案を撤回した後、総務省において、地域住民への災害情報の伝達に寄与するLアラートに対する国の関与の在り方について検討を進めてきました。

総務省としては、近年、災害が激甚化・頻発化するとともに、Lアラートの情報が内閣府新総合防災情報システムへ連携を開始するなど国の災害情報共有施策の一部になったことを踏まえ、Lアラートの信頼性・安定性・持続可能性をより一層向上させる必要があると認識しております。

そのため、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和7年6月13日閣議決定）において、令和8年12月より、Lアラートを国において運営する旨を決定しました（別紙参照）。

なお、総務省でシステムを運営するにあたり、セキュリティ対策強化のためのシステム改修や利用規約等の変更を行う予定です。

システム改修については、極力利用者の皆様のシステム設定変更等が生じないようにする方針です。現時点では、運営主体が発行するアカウントのパスワード強化について、利用者の皆様に御対応いただく必要があると想定しております。

また、利用規約等の変更に伴い、利用者の皆様と書面での手続が発生する見込みです。

本年秋頃に、利用者の皆様に対して、運営主体移行に伴い対応が必要な事項について御説明する場を設けたいと考えております。御不明な点や御意見がございましたら、以下のお問合せ先までお願いいたします。

以上

＜お問合せ先＞

○今後のLアラートの運営主体について

総務省
情報流通行政局地域通信振興課
電 話：03-5253-5756
メール：l-alert.chishinkai@sochi.go.jp

○現行のLアラートの運営について

（一財）マルチメディア振興センター
Lアラート運用センター
電 話：03-6704-6554
メール：commons-center@fmmc.or.jp

（別紙）

デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和7年6月13日閣議決定）＜抄＞

【重点政策一覧】

※3-30 Lアラートによる災害情報の確実な伝達の推進

地域住民への迅速な避難指示等の情報の伝達において必要不可欠なLアラートについて、現在は一般財団法人が運営しているところ、内閣府新総合防災情報システム（SOBO-WEB）とのデータ連携を開始するなど、その役割が拡大していることから、安定性・信頼性等の一層の向上が必要。そのため、2026年度中に国においてLアラートを運用する。

また、政府全体の防災DXを推進するため、内閣府新総合防災情報システムとLアラートの更なる情報連携をはじめとしたLアラートで扱う情報の充実化等に向けた取組を進める。

具体的な目標：

2026年度中に、Lアラートのシステムの安定性・信頼性・継続性を一層向上させる。

今後、Lアラートを活用して、災害対応機関間で共有されている情報のうち適切なもの（ライブライン情報等）を報道機関等を通じて地域住民に伝達できるようにするなどLアラートで扱う情報の充実化等を実現する。

Lアラートの運用主体移管に伴うパスワード強化

参考：パスワード強化に係る利用者向け周知メール（10月2日発信）

[-alert]【重要】「ご利用パスワードの変更（マスタ管理システム）」のお願い（期限 2025年11月30日）

common-center <common-center@fmmc.or.jp>
宛先 common-center 2025/10/02 (木) 13:39

このメッセージは 2025/10/17 11:54 に転送されました。

パスワード変更手順書（マスタ管理システム）.pdf
4 MB

Lアラート利用者 各位

お世話になっております。Lアラート運用センターです。
平素よりLアラート活動へのご協力ありがとうございます。

Lアラート利用者様へのお願い事項となります。

現在、Lアラート運用センターからLアラート利用者に対して、(1)自主管理責任者アカウント、(2)一般利用者アカウントの2種類のアカウントを発行しているところ、一部の利用者のアカウントのパスワードが脆弱であることを確認しています。このため、「脆弱なパスワード」によるLアラートシステムへの不正侵入を防止する為、2025年11月30日までに、以下の作業要領に従い、「強力なパスワード」への変更をお願いします。

（なお、ガス事業者様は対応が異なりますので、以下の対応は不要です。今後、別途個別に対応をご連絡いたします。Lアラート利用者向け一斉メールを利用している為、ガス事業者様にも本メールが配信されていますが、ご容赦ください。）

【作業要領】

1) 本作業は、マスタ管理システムの自主管理責任者アカウント及び一般利用者アカウントへ対応するパスワードが対象です。まずは、これらのパスワードについて、以下のパスワードポリシーに適合しているか、自主管理責任者御自身で御確認ください。

パスワードポリシー：「半角数字」「半角英大文字」「半角英小文字」「半角記号」の3種以上で、かつ8桁以上

また、自主管理責任者の権限で、マスタ管理システムに自主管理責任者アカウントや一般利用者アカウントを追加している場合は、そのパスワードも確認対象です。

※自主管理責任者アカウントや一般利用者アカウントのパスワード確認方法

（別添「パスワード変更手順書」参照）

・「マスタ閲覧」メニューで「利用者管理」を選択すると、現在登録されている利用者情報（パスワード含む）を閲覧することができます。 自主管理責任者アカウントが不明な場合は、Lアラートサポートデスクまでお問い合わせください。

※「発信・配信監視設定管理」から設定が可能な情報受信用「WS-Security（Username Token）パスワード」は、本作業の対象範囲外のため変更不要です。（仮に当該PWを変更した場合、貴社の情報受信システムへの影響が発生します。）

2) 確認の結果

2-1) 利用者情報が表示されない場合は今回の変更作業は不要です。

（自主管理責任者アカウントを払い出されていない一般協力事業者様が該当します）

2-2) パスワードポリシーを満たしている場合は、今回の変更作業は不要です。

2-3) パスワードポリシーを満たしていない場合は、別添「パスワード変更手順書」に沿って、パスワード変更をお願いします。

なお、一般利用者のパスワードについては、自主管理責任者が変更を行う必要があります。そのため、変更作業前には、一般利用者アカウントの配布先と調整の上、変更作業を実施いただくようお願いいたします。（例えば、メディア様によっては、関連会社等へ一般利用者アカウントを配布しているケースがあるため、当該団体との調整が必要となる場合があります。）

3) 期限までの対応が無い場合は、該当する自主管理責任者に「パスワードの強制初期化」を実施する旨通知し、かつ実施させていただく予定です。

※脆弱なパスワードは、友人や悪意のある者、パスワードハッキング・ソフトが容易に推測できる文字の組み合わせのことです。パスワードの強度が最良の実践方法に従っていても、使い回すなどの別の要因で脆弱になっている可能性があります。

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

Lアラートの運用主体移管に伴うパスワード強化

参考：不適パスワードのガス事業者に対する事前周知メール（11月17日発信）

【重要】Lアラート パスワード変更に関するご案内（ガス事業者様）



commons-center
宛先 commons-center

返信 全員に返信 転送 印刷 ...

2025/11/17 (月) 15:28

このメッセージは 2025/11/20 10:18 に転送されました。

Lアラート利用者（ガス事業者）各位

お世話になっております。

Lアラート運用センターです。

平素よりLアラート活動へのご協力、誠にありがとうございます。

本メールは、10月2日にお送りしましたメール（下部参照）に関連し、11月4日時点でパスワードが「強力なパスワードポリシー」を満たしていない利用者様に送付しております。
つきましては、Lアラート運用センターにてパスワード変更を実施いたしますので、以下のとおりご案内申し上げます。

【1】パスワード変更に関する事前確認のお電話

明日11月18日(火)以降、Lアラート運用センター（運営元：マルチメディア振興センター）より、ご登録いただいているご担当者様（「利用責任者」など）宛にお電話のうえ、パスワード変更の実施可否について確認をさせていただきます。

【2】パスワード変更の実施について

前項にてご承諾いただいた利用者様については、ご承諾いただいた翌日にパスワードを変更のうえ、Lアラートサポートデスク

（l-alert_sd@am.nttdata.co.jp）より新しいログイン情報を記載した「アカウント通知書」をお送りいたします。

【3】「アカウント通知書」の受領後の対応について

ご利用頂いているご利用者様向けツール（以下2点）のログイン時のパスワードについて、前項でお送りした「アカウント通知書」のパスワードに変更をお願いします。

- ・コモンズエディタ2
- ・Lアラートビューワ

※各ツールのご利用方法等の詳細については、利用者向け専用サイト「公共情報コモンズ Wiki」にてご確認ください。

(URL <https://l-alertportal.fmmc.or.jp/wiki/doku.php?id=start/>)

なお、パスワード変更をご承諾いただいた後に、災害発生対応によりLアラートの利用機会が発生した場合など、利用者様のご都合によっては、パスワード変更を延期させていただきます。
その際は、Lアラート運用センター（03-6704-5554）までご一報ください。

以上、よろしくお願いいたします。